



〈新規開発による〉研究検査

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますので、ご案内申し上げます。

謹白



項目名

● HCVコア変異相対定量

(依頼コード No. 6768)

受託開始日 2012年9月18日(火) 受付分より

HCV-1b型コア領域に存在するアミノ酸70及び91の変異は、宿主側の因子であるIL28B遺伝子多型とともに、ペグインターフェロン、リバビリンにテラプレビルを加えた3剤併用療法の薬効予測因子として知られています。いずれの変異株についても野生株と混在していることが報告されていますが、その存在比率と薬効との関連については明らかにされていません。

この度、PCR-Invader法を用いた相対定量解析により、両変異株の存在比率を数値でご報告することが可能となりました。HCV-1b型コア変異混合型検出の臨床的意義を検討する研究検査としてご利用ください。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

依頼(報告)コードNo.	6768 (親) ----- (子) 6954 HCV コア 70 (子) 6955 HCV コア 91
検体必要量	血清 0.5mL
採取容器	B-32
検体の保存方法	凍結
所要日数	4～14日
検査方法	PCR-Invader 法
報告形式	コア領域の70番目のアミノ酸変異(アルギニン→グルタミンあるいはヒスチジン)及び91番目のアミノ酸変異(ロイシン→メチオニン)について、それぞれ変異の割合を、1%未満、1～98%、99%以上でご報告します。
検査実施料/判断料	未収載

ご注意

汚染の影響を受けやすい検査法のため、核酸増幅法以外の検査項目との共用依頼は避けてください。

本検査の対象は、HCV-RNAジェノタイプ1b型が確認されている症例のみです。1b型以外のジェノタイプでは核酸増幅がなされず、PCR(-)となります。また、ウイルス量が極く微量で検出下限に満たない場合も同様にPCR(-)でのご報告となります。

【関連検査項目】 ● IL28B 遺伝子多型解析 (依頼コード No.1627)

【測定法の参考文献】 Akuta N. et al.: Hepatology 52, 421-429, 2010.